

CO・OP

京都の生協

2006/April/No. 59
京都府生活協同組合連合会



ばんざい人間！
いのちと平和の尊さをいまこそ……

Talk Talk トークトーク

はやかわ かずてる
◎総合人間研究所所長 医師 早川 一光さん

◎京都府生活協同組合連合会 会長理事 小林 智子

対談

TalkTalk

トークとーく

ばんざいい人間！ いのちと平和の尊さをいまこそ……

総合人間研究所所長 医師

京都府生活協同組合連合会 会長理事

早川 小 林 智 子
はやかわ かずてる
こばやし ともこ

早川一光先生は、京都西陣そして美山で「くらしの医療」に取り組んで50年——「わらし医者」「ボケの先生」として、住民の「生・病・老・死」に立ち会ってきた。いま、先生は、龍安寺にほど近い自宅に「よろず診療所」を開設。看板もかかげず、白衣も着ず、検査器具もおかずに、茶室で、みずからの全感性・全経験をあげて聴き診る「サードドク

KBS京都ラジオ番組、もうすぐ20年1000回—— 「公開と参加」基本に

小林 先生がパーソナリティをなさっているKBS京都ラジオ「早川一光のばんざいい人間」は、放送開始から19年、もうすぐ1000回をむかえる長寿番組ですね。じつは私も、まだ介護保険がスタートする前でしたが、「上京に老人福祉施設をつくらう」という運動をしていたときに、スタジオ出演をしたんですよ。とかく高齢者の問題は暗くながちなの

に、スタジオには笑いとパワーがみなぎっていたのが印象的でした。

早川 いやあ、最初はアナウンサーと二人だけで、プロデューサーに指示されながらやっていたんですよ。でも、いっばなしで何の反応もない。こりゃアカンと思いついて、「公開しようよ」というたんです。やっぱり、みんなの顔を見ながら話したいですから。

小林 スタジオ参加者は圧倒的に女性が多いですね。

早川 オババばかりですけどね(笑)。でも、ぼくはね、公開と参加



C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく対談	
ばんざいい人間！	
いのちと平和の尊さをいまこそ……	2
2006年 京都府生協連 新春交歓会を開催	8
会員生協 NOW④ 京都橋学園生協	10
「京都府食の安心・安全推進条例」	
12月議会全会一致で採択……	12
消費者被害の防止のために、実効ある消費者団体訴訟	
(団体訴権)制度の創設をもとめて意見書を提出……	13

TOPICS 14

- 西日本災害対策交流会開かれる
- 会員生協との相互連絡防災訓練を実施
- 第7回京都消費者フォーラム
- 京都環境フェスティバル2005
- 京都議定書発効1周年記念イベント
- 05年度監事・役員研修会
- J A京都女性協と京都府生協連役員・組合員との交流会

- 京都生協・第8回商品大交流会開かれる
- 近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会
- マスコミ関係者と京都府生協連役員との懇談会

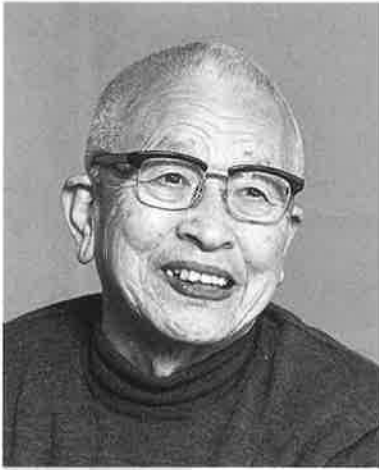
- おもな行事のお知らせ 16
- 探訪 私のしごと館 16

KBS京都ラジオ
「早川一光のぼんざい人間」

毎週土曜日早朝6時15分から8時10分に放送されている。1987年10月3日からスタートした番組で、スタジオでの公開放送。早朝にもかかわらず、毎回スタジオにはたくさんのリスナーが集まる。「お相手」の北出真紀恵さんとの楽しいやりとりも人気のヒミツ。番組から生まれた「ぼけない音頭」は全国に広がっている。



写真提供：KBS京都ラジオ



総合人間研究所所長
医師 早川一光さん

小林 先生は「わらし医者」「ボケの先生」とよばれていらつしやいます。もともと外科がご専門だったそうですね。

早川 外科が好きだったのは、悪い部分を切れば、あとはよい部分ばかりだから放つておいても治る、そういう因果関係がはつきりしているからだったんです。

ぼくが府立医大を卒業したのは1948（昭和23）年。戦後の食糧難の時代でしたから、栄養失調から感染症にかかる人が多くてね、おとな

は結核、子どもは赤痢と小児マヒにやられていました。風呂にも入れなかつたので、疥癬かびせんも多く、おとなも子どもも皮膚はポロポロ。いま途上国の人たちがなめている苦しみと同じですな。そんなときに医者になりました。

早川 たしかにそういう時代だったんでしょね。じつは私の父も、私が生後10カ月のときに結核で亡くなりました。

早川 そうですか。あのころはそういう話が多かつたですね。たくさん犠牲を払ったあげくの敗戦で、国民は栄養失調や結核でどんどん亡くなつていくのに、それまで「天皇陛下のため、お国のため」といつていた権力者たちは、ケロッとして、「みんなが悪かつたんだ」といわんばかり。彼らの姿を見ていて、ぼくのマインドコントロールは完全に解けました。「もう絶対に権力者なんか信頼しない」と誓つて、突き動か

されるように学生運動に参加したんです。

小林 どんな運動をなさつたんですか？

早川 われわれの要求のポイントは3つでした。ひとつは、大学の自治。「みずから治める」自治は、多くの犠牲を払つて手に入れた貴重な財産だったし、ぼくらにとつて「自治」という言葉そのものが魅力的だった。それで、「大学は教わるどころではなく学生が学びとつていくところだ」といつて、教授会の公開、教授の公選制、教科書選定への

医学生のこと
「自治」といちはん困っている人のために

は民主主義の原則やと思つていゝんですよ。ぼくらが上手にノセて、お客さんを楽しみ気分にする。そうするとお客さんが主人公になつて、その楽しさはラジオを聴いている人にも伝わる。そうやつて長くつづけたのだと思ひます。

それに、公開と参加は、ぼくらがやつてきた医療運動の原則そのものなんです。病気の予防も治療も、医者だけがわかつていてもアカン。患者さんに、「つらいけどタバコはや

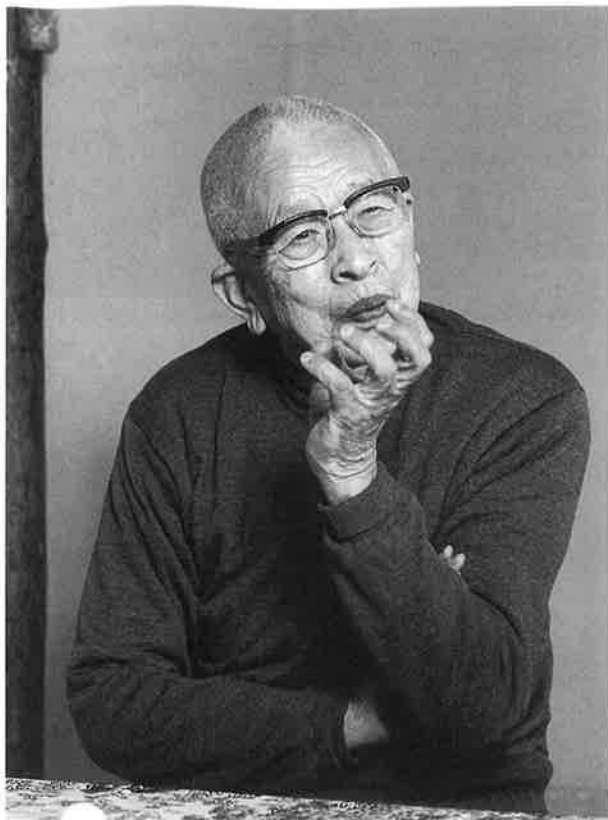
めなアカンのやなあ」と思わせたと、はじめて「医学」は「医療」になる。つまり、患者を参加させ、主体にしたとき、われわれの行為ははじめて「医療」になるんです。そう思つて医者をつづけてきました。



京都府生活協同組合連合会 会長理事

小林 智子





学生の参加などを要求しました。

二つ目は授業料値上げ反対。父親が戦死して、学費が払えず退学に追い込まれる友人もいましたから、黙って見ているわけにはいきません。「学費を上げるな。貧富の差なく勉

強させろ」と要求したんです。

三つ目は、入院患者に援助物資を公平にゆきわたらせること。卵や脱脂粉乳など、アメリカからの援助物資がちゃんと患者さんにわたっているかどうかを、学生が点検しました。

まあ、つまるところ、「自分の勉

強の条件は自分で守り、自分たちのくらしは自分たちで守り、いちばん困っている人のために全力をあげる」ということですね。この三原則で、ずっとやってきました。

西陣の人たちが育てた「わらじ医者」 「自分たちの健康は自分たちで守る」

小林 西陣に、現在の堀川病院の前身の白峰診療所をつくられたのも、そういうお気持ちからだだったんですね。

早川 白峰診療所は、ぼくがつくったんところがいますよ。西陣の人たちがつくったんです。ぼくは彼らの気持ちに押されて行っただけ。

西陣のみなさんは、帯を1寸織つていくら、3寸織っていくら、という生活で、食事もつくる暇がないから、店屋物をとって、走るように食べていた。生きていくのに必死でした。そういう必死の生活のなかから、「私たちの診療所がほしい。自分たちの健康は自分たちで守ろう」という運動が起きて、5円、10円と集めて、白峰診療所をつくられたんです。

そうして府立病院に医師派遣の要請に来られたとき、ぼくはすぐに「行きます！」と行きました。外科医としての仕事がいなくなることは百も承知。「外科医だから子どもは診ない」というわけにはいかない。でも、外科医である前に医者、医者である前に人間やもの。そうでしょう？ だから、ぼくをこういう医者に育てたのは西陣の人たちなんです。

音が響いていました。

早川 そうやるね。西陣の人たちは毎日必死やから、結核が疑われる患者さんに「レントゲン撮るよ」というたとたん、「きょうは急ぐ用があるんで、また……」と、いそいそ帰るんです。でも翌日も来ない。そのとき、ぼくは悟りました、「自分から来る患者さんは、放っておいても日赤でも府立でも受診するやろ。来ない患者さんこそ、ぼくが診なきやならん。そういうお人こそ、ぼくが主治医になるべきや」と。

小林 それで、「わらじ医者」が誕生したんですね。

早川 実際、西陣のまちを歩くと、患者さんのくらしを目の当たりにするんです。路地の奥では、子どもたちが共同井戸のまわりで遊び、共同便所で用を足している。こんなところで伝染病が出たら、みんなに感染したいへんなことになります。それで、路地に幻灯機を持ち込

小林 私の実家も西陣の一角ですが、幼いころは一日中、路地に機



んで、夜みんなに集まってもらって、伝染病の話をしました。そしたら、まちの人たちは「排水口を表面りまですべてもらおう」とか「共同便所のくみ取り口には金網を張ろう」と話し合っただけはじめる。そうやって、「自分たちの健康は自分たちで守る」という運動が広がっていったんです。

ほくらは、「貧乏な人のつくった診療所は『安からう悪からう』ではアカン。こういう診療所で日本の最先端の医療をやることこそ青年医師

の仕事や」というので、診察を終えた夜、みんなで集まって燃えるように勉強しましたな。

小林 住民出資の医療機関をつくるって、理事会にも住民代表をきちんと入れられた、というのすばらしいですね。

早川 西陣の8つの地域から一人ずつ理事を選んでもらって、病院の管理者側理事は7人でした。だから、理事会を開くと8対7で、かならず管理者側が負けるんですわ(笑)。西陣には土曜も日曜もないから、理

事会で「土日も夜間も診療してくれ」と要求される。赤字覚悟でやっていると、やっぱり赤字で、そうすると地域の人たちが「どうしたらええんや」と聞くんですね。ほくらが「患者さんをふやしてください」というと、地域の人たちが学区内を回って、隠れていた結核患者を見つけ出してくれました。

そういう患者さんに生活保護を受給してもらい、医療扶助を申請してもらったら、病院はそれで請求できますからね。

先端医療とは「くらしの先っぽ」で診る—— 田んぼのあぜ道での診察から

小林 先生は、「病気を診る」というより「くらしや人生そのものを見る」お医者さんなんですな。

早川 ある講演会で、50歳を過ぎたおばさんが「先生、わてを覚えてる？ 2歳のときにハシカから肺炎になって、先生に治してもらたんや」というてきたんです。ほくはいいました、「いや、おれが助けたんや」とか。隣の家のおばちゃんが、あなたを背負って診療所に連れてきたんや。あのおばちゃんが、あなたのいのちを助けたんやで」と。彼女のいのちを救ったのは西陣の地域の人たちやし、そういう人たちの生活のいちばん先っぽで医療をするのも先

端医療やと思うんです。なにも最新の医療機器を使うだけが先端医療ではないんですな。

小林 生活のいちばん先っぽといえは、京都府北部の美山町(現・南丹市)では公設民営の美山診療所を開設されて、田んぼのあぜ道でも診察なさったとか。

早川 だってね、患者さんは、ほくの顔を見たら「痛い、痛い」というくせに、往診にいったら家にいない。「お〜い！」と声をかけたら、畑から出てくるんですよ。つまり、畑で働くことで苦痛を忘れてるんですよ。

「ははあん、これは畑が病気を治

しているんやな」と思いました。ほくらが使う薬は「一時的なもので、ほんとうの薬は「ものを生産する喜び」なんです。

小林 だから、患者さんの「くらしの場」を大事になさったんですね。

早川 心が安らぐ自分の家は、最高の病室ですわ。どんな高度な先端医療を施す病院もかありません。だから、「最期は畳の上で死にたい」という人については、その願いをかなえるために全力をあげました。医療者がよかれと思うことが、ほんとうに患者さんのためになるとはかぎらへんからね。





(かもがわ出版 八〇〇円)

「憲法九条」は「いのち」の問題——どう伝えていくか

小林 先生は、ラジオ番組の放送

台本をもとに「ひろがれ、ひろがれ

九条ねぎ(祈ぎ)の輪」(かもがわ

出版)という本をお出しになり、憲

法問題についても積極的に発言なさ

っていますね。

「わかりやすい」ということで

評判も高いとうかがっています。

早川 番組の「びっくり仰天講座」

のなかで、「憲法を考えよう」とい

うコーナーを2年半ほどつづけてき

たので、それを1冊の本にまとめて

みました。

憲法は、じつはぼくらの生活に深

くかかわってるんやけど、「前文が

どうの」といはいはじめると、むずか

しくなって、あんまり聴いてくれへ

ん。そこから、とにかくわかりやす

く話すことを心がけました。

小林 生協でも、最近は若い組合

員さんがふえてきて、戦争や憲法と

いうと「むずかしい」と思っしま

う人も少なくありません。でも、差

別やいじめの問題は日常的にあるん

ですね。そういうテーマは関心が高

いように思います。

早川 差別やいじめも、つまりは

「いのち」の問題なんやけどね。戦

争や憲法の問題と関係のないこと

はないと思います。

小林 そうなんです。「平和」と

いうのは、たんに「戦争がない状態」

ではなくて、「いつさいの飢餓や差

別や暴力がない状態」なので、身近

な差別やいじめの問題ともつながっ

ています。

でも、問題は、それをどう伝えて

いくかですね。

早川 ぼくも、それが課題やと思

います。やっぱり、「いのち」の問

題をきちんと考えられる人を育てん

とアカンね。

それができてこなかったから、

「憲法も現実に合わせて変えるべき

だ」みたいなアホな話も、まことし

やかに語られる。理想を現実に合わ

せて、どないしますねん。まるで反

対ですわ。

現実を、憲法がかかえる理想の高

みにもっていかなあきません。その

ために営々と努力するのが人間とい

うものではない。

小林 差別やいじめ、貧困や戦争

の問題を考えるためには、自分とは

異なる文化の存在を認めて、そのう

えで自分の思いを誠実に伝えたり、

相手の考えをちゃんと受けとめたり

して、一致点や解決策を見いだす姿

勢が必要だと思えます。これは相

手にたいする想像力と高度なコミ

ュニケーション技術が必要とする

ので、教育のなかに位置づけなけ

れば、なかなか自然には身につく

ものではありません。

でも、日本の場合、学校教育の

場でも、社会教育の場でも、こう

した教育の場はとも少ないと思

います。

早川 うんうん、そのとおり！

「お金で人間の心を買える」なん

という人も出てきた。

これはいけません。

小林 それで生協の組合員活動

では、子どもたちといっしょに学

ぶことに力を入れています。たと

えば戦争体験を聞く会を開いた

り、絵本の読み聞かせをしたり、

広島でフィールドワークをした

り、ユニセフの呼びかけに応じて

ラオスの子どもたちにお年玉募金

を送ったり。

京都府生協連も、大学生協と協

力しながら各国の留学生を招いて

討論会を開くなど、それぞれが型

にはまらない多様な活動をしてい

るんですよ。これは新しい希望だ

と思います。



いのちが大事にされる世の中をめざして 「つながり」を一本一本つなぐ仕事

早川 このごろね、「こんな年金で、これから先もくらししていけるやらかと思うと、心配で心配で眠れへん」いうて薬を取りに来るオババも多いんです。そんな話を聴いてると、ぼくら医療者も、生協も、いちばん困っている人の問題を取り上げることが仕事やないか、そこが共通点やないかと思えます。

小林 もう少し若い世代だと、子育てで悩んでいたり、みんなが多かれ少なかれ不安感をもっていますね。



早川 そうでしょうなあ。いまは、一人ひとりがばらばらにされて、本音を話せなくなっているでしょ。だから、生協は、断ち切れそうなたつなかりを一本一本つなぐような仕事をしてほしい。そして、みんなが猿ダングのようにキーツと固まるんです。そうやって団結しないと、だれもが安心してくらせる世の中なんて、できませんわ。そういう仕事こそ生協がやるべきだと思います。

ぼくら医療者にしても、「いつでも、どこでも、だれでも安心してかかる医療を」と主張してきたことが、国民皆保険制度などで一般化・制度化されて、いまは日赤でも府立でも「患者本位の医療」をいうようになりました。そして、もうぼくらの運動は必要ないのかというと、そうではない。いのちが粗末にされない世の中をめざして運動するところに、ぼくらや生協の意味があるんじゃないでしょうか。

その意味で、くらしの助け合いの会が高齢者のための配食サービスをされているのはすばらしいと思います。いちばん困っている人

のくらしの先っぽで活動するのがぼくらや生協やし、そういう活動とおして、世の中全体を「いのちが大事にされる社会」にしていかなアカンと思いますね。

小林 そういふご要望は、医療や福祉分野の方からもうかがっていますし、生協の使命だろうと思っっています。いま、医療や介護保険制度をはじめ、社会福祉・社会保障制度が後退していくことへの心配がひろがっています。購買・大学・医療などいろんな分野の生協が連携したり、生協以外の団体と手をつないだら、もっと一人ひとりのくらしに目が届くだろうと思えます。きょうは、早川先生からとても大事な宿題をいただきます。

早川 どうしたら「いのちの大事さ」「憲法九条の大事さ」をわかりやすく伝えられるかという問題もふくめて、おたがいに共通の宿題ですな。これからもときどき、こんな話をしましょうよ。

小林 はい、またぜひお話を聴かせてください。どうもありがとうございます。

(写真撮影・有田知行)

はやかわ かずてる 早川一光先生のプロフィール

1924年、愛知県に生まれる。京都府立医科大学卒業。1950年、京都・西陣に設立された住民出資による白峰診療所に着任。のちに堀川病院に発展。院長・理事長を歴任。著書に『わらじ医者京日記』『ボケとつき合う』『大養生のすすめ』『ほな、また来るで』『お〜い、元気かあ〜』など多数。1982年NHKドラマ人間模様「とおoryんせ」は早川先生がモデル。



写真提供：KBS京都ラジオ

2006年 京都府生協連 新春交歓会を開催



同志社大学邦楽部の学生たちによる祝賀の演奏

小雪の舞うきびしい寒さとなった1月7日(土)、コブイン京都にて、2006年京都府生協連新春交歓会がひらかれました。

京都府生協連の鎌部千津子理事の司会で開会し、小林智子会長理事が開会のあいさつをのべました。つづいて、京都府商工部 堀内真理子次長、農林水産省近畿農政局 齋藤仁志次長、JA京都中央会 小瀧茂専務理事の3人のかたがたから来賓のごあいさつをいただきました。

今年、地元選出の国会議員のみならずはじめ、府議会・市会議員のかたがたが多数ご出席くださり、小峰専務理事よりお名前の紹介をさせていただきました。

京都商工会議所 小堀脩専務理事による乾杯のあいさつで会食・懇談にはいりま



小林智子会長理事



たくさんの方にご出席いただきました



J A 京都中央会
小瀧 茂専務理事



農林水産省近畿農政局
齋藤仁志次長



京都府商工部
堀内真理子次長

した。さいごに、京都府生協連 平信行副
会長理事が閉会とお礼のあいさつをのべま
した。
行政や議員のみなさんはじめ、130人

祝電・メッセージを いただいた方

(敬称略・順不同)

- | | |
|-------------|---------|
| 自由民主党：衆議院議員 | 中川 泰 宏 |
| 自由民主党：衆議院議員 | いざわ 京 子 |
| 民 主 党：衆議院議員 | 山 井 和 則 |



京都府生協連
平 信行副会長理事



京都府生協連
小峰耕二専務理事



京都商工会議所
小堀 脩専務理事

の方にご参加いただきました。
同志社大学邦楽部の学生のみなさんによ
る祝賀の演奏が、お正月らしさをいっそう
ひきたててくれました。

出席いただいた 京都府会議員・京都市会議員

(敬称略・順不同)

- | | |
|---------------|---------|
| 日本共産党京都府議会議員 | 松 尾 孝 |
| 日本共産党京都府議会議員 | 新 井 進 |
| 日本共産党京都府議会議員 | 島 田 敬 子 |
| 日本共産党京都府議会議員 | 原 田 完 |
| 日本共産党京都府議会議員 | 西 脇 郁 子 |
| 日本共産党京都府議会議員 | 加味根 史 朗 |
| 公明党京都府議会議員 | 澤 照 美 |
| 日本共産党京都市会議員 | 山 中 渡 |
| 日本共産党京都市会議員 | 倉 林 明 子 |
| 日本共産党京都市会議員 | せのお 直 樹 |
| 公明党京都市会議員 | 大 道 義 知 |
| 公明党京都市会議員 | 井 上 教 子 |
| 民主・都みらい京都市会議員 | 隠 塚 功 |
| 民主・都みらい京都市会議員 | 鈴 木 正 穂 |



民主党 衆議院議員
北神 圭朗さん



民主党 衆議院議員
泉 ケンタさん



自由民主党 衆議院議員
山本ともひろさん



日本共産党 参議院議員
井上 哲士さん



民主党 参議院議員
福山 哲郎さん



民主党 参議院議員
松井 孝治さん

出席いただいた国会議員

大学と生協が協力し合って学生たちを 育てていく

京都橘学園生協・小暮宣雄理事長こぐれのぶお（文化政策学部教授）／東川絹子食堂部店長をたずねてひがしからきぬこ

昨年4月より男女共学となった京都橘大学。それにともない、生協も、それまでの京都橘女子学園生協あらため京都橘学園生協になりました。文化政策学部は、今年で創設6年目の「若い」学部で、山科の地域性や歴史・文化・特産物など、この地ならではの「資源」と街づくりをむすびつけるユニークな授業が人気を集めています。大学の教育・研究と生協活動が一体となった「学びと成長」の場がそこにありました。京都府生協連の小林智子会長理事が、小暮宣雄理事長と東川絹子食堂部店長にお話をうかがいました。



小林智子会長

男女共学になって

小林 京都橘大学は昨年から男女共学になりましたが、男子学生はどのくらいいるのですか。

35人。全体で500人ちょっとだから、約4分の1ですね。学部でのバラツキはありますけど。

小林 学内の雰囲気は変わりましたか？

小暮 そうですね。男子が入ったことで、サッカークラブができ、野球も同好会ができたそうですね。

東川 生協とのかかわりという点では、サッカーと野球の中心メンバーが生協の下宿斡旋のアルバイトをしています。生協委員をオリーブといいます。男子学生のオリーブも熱心に活動していますよ。

理事長1年目

小林 小暮先生が理事長になられたのも昨年でしたね。

小暮 はい、そうです。もともと、橘は文学部だけの大学でして、01年に文化政策学部が新設されました。私は文化政策学部の教員なんです。5年前に着任してからずっと生協の理事をしていました。昨年、前任の理事長が忙しくなって交代したということ、私が理事長になりました。

東川 文化政策学部の学生がずいぶん生協にかかわるようになってきました。昨年の府連総会で発表した「マンダリンカフェ」

小林 理事長になられて、いかがですか。

小暮 文化政策学部には文化政策学科と現代マネジメント学科がありますが、はじめのころは、文化政策学部には生協にかかわる学生がほとんどいませんでした。生協には、伝統的に文学部の学生がかかわるといいう状況でした。

小林 それが、いまはどんなふうになつて……。

東川 文化政策学部の学生がずいぶん生協にかかわるようになってきました。昨年の府連総会で発表した「マンダリンカフェ」

「エ」運営の取組みは、全員、現代マネジメント学科の学生によるものです。ここはメニューもふくめて、すべて学生たちで運営しています。ことし何人かの学生が卒業したので、現在は10人ぐらいでカフェを運営していますが、新年度あらたに10人ぐらい入ってくる予定です。

授業で学んだことを 試す場としての生協

小暮 現代マネジメント学科の学生にとって、カフェの取組みにかかわることは、授業で学んだことを現場で実践するということになるんですね。つまり「学び」と生協での活動は別々のものでなくて、授業で「経営が必要とするもの」ということを教えますから、授業で学ぶことと、生協で「マンダリンカフェ」を運営するということが直結するのです。

東川 ことし卒業した学生のうち3人から、「大学生活のなかで、いちばん感動したことはマンダリンカフェの取組みだった」との言葉がありました。「自分たちで考えて動ける、そ



小暮宣雄 理事長
毎日違うパンダナ姿がトレードマーク

小暮 初年度の男子学生は1



食堂の見事なおひなさま飾りの横で。

れがよかった」と。「清水焼の
カップ?」「割れる」「もつてい
かれる。」「メニューをふやす?」
「あの場所(厨房)ではムリ」。
「夕食もやりたい?」「ムリ」:
…。最初から「ムリなのででき
ない」と片付けてしまうのでは
なくて、「でも、学生がやりた
いっていうのだから、しゃあな
いな、やってみよう、やってみ
てから…」というプロセスを
大事にしてきました。そして、
やってみて、結果、初年度は1
30万円の赤字。このことを学
生にきちんと報告する。状況を
学生がちゃんと知ることが大事
なんです。赤字でよいというこ
とではないので、一定の線は引
いていますが、そのような体験
が学生生活のなかでできるとい

うことがとても価値のあること
だと思っています。

小喜 学生にとってカフェで
学ぶことは多い。大学としては
地域の資源を生かすという理念
ができていますし、清水焼の関
係者とは以前からお付き合いが
ありました。でも、「結婚式の
引出物になぜ清水焼が使われな
くなったか」なんて、学生の結
婚観を知らないといわかりませ
ん。そんなところに、大学と地
域と生協が協同できる具体的
課題があるんですね。

生協が、学生・教員・職員が
フラットに集まれる場であるこ
とがありがたい。生協活動のな
かで教員や職員が学生に試され
ているとも感じます。学生も、
生協の理事として見たら、別の
顔に見えることがあります。

小林 府連の総会で学生の活
動発表を聞くと、経験を積んだ



東川絹子 食堂部店長

地域生協の理事さんから「自分
の活動原点を思い起こす」とよ
くいわれます。

生協が新入生歓迎会 を主催

小林 入学式もまじかですが、
生協としてどんな取組みをしま
すか?

東川 年ねん、大きくひろが
っているのが、生協が企画する
「新たちばなさん、いらっしや
い!」ですね。先輩が新入生を

お世話して楽しい懇親会になっ
ています。すべて学生が自分た
ちですすめるのですが、企画を
具体化するにあたって、一般学
生を対象にしてグループプリーダ
ーを募集するというのが京都橘
学園生協の特徴です。

小林 大学でなく、生協がオ
リエンテーションをやってい
る?



研究室にあったチンドンノ太鼓。毎
年関西に住むアーティストと地域を
つなぐ公開セミナーを開催している
そうて、「首の出るもの」がテーマ
だった04年に、チンドン「たちば
な家」をお披露目した楽しいお話も
うかがいました

小喜 そうです。「入学式に
何着る?」というよびかけなど、
大学側ではできませんから。大
学が用意するのは授業のことが
主になってしまいます。

生協が新入生むけに作成した
『まるまる山科』は、「生協のお
ばちゃん」たちによる山科での
生活情報満載で、大好評なん
ですよ。大学と生協が協力し合
って学生たちを育てていく、い
い関係ができていると思ってい
ます。

小林 ほんとうにすばらしい
ですね。また府連総会で元気な
活動報告をお願いします。楽し
みにしています。



清水焼の
コーヒー
カップが
話題のマン
ダリンカフェです

食堂には、息をのむよう
な見事な手作りのおひなさ
まが飾られていました。パ
ート職員の小林安希子さん
(円内)の作で、飾りはほ
かに、お正月、五月人形、
祇園祭など季節ごとにあり、
食堂を利用する学生たち
をなごませています。



京都橘学園生活協同組合

代表者/理事長: 小喜 宣雄 専務理事: 大塚 正文
所在地/京都市山科区大宅山田町34 ☎075-571-2325
事業高/3億2400万円
組合員数/2,361人
設立年月日/1977年12月14日

山科区大宅の山の上に位置するキャンパスで、学園生活をサ
ポートする活動をすすめてきた。小規模大学の特性をいかし
て組合員と生協職員がいっしょになって「お店」「商品」づ
くりをすすめている。学生の「学びと成長」が重点テーマに。

「京都府食の安心・安全推進条例」、12月議会全会一致で採択

近畿圏では初めて

2005年12月16日、京都府議会で「京都府食の安心・安全推進条例」が全会一致で採択されました。食品安全にかんする条例が制定されたのは、全国で10番目、近畿圏では初めて。

条例は、「現在及び将来の府民の健康保護」がもつとも重要であるとの基本認識のもとに、最新の科学的知見にもとづき、食品による健康への悪影響を「未然に防止する」という観点から、「生産から消費にいたる食品等の供給に係る工程ごとの各段階に応じて必要な措置」を適切に講じるという考え方の上に立って、具体的な仕組みをつくって取組みをすすめていくことを明らかにしています。

生協のはたした役割

京都の生協は、1999年、食品衛生法改正にむけた署名活動を開始して以来、食品安

全の社会システムの確立をめざして、ねばりよく活動をつづけてきました。

当会は、食品安全にかんする課題を「特別に重要なテーマ」として位置づけ、地方公共団体での食品安全行政の強化にむけて、京都の生協のセンターとしての役割をはたしてきました。

小林智子会長理事が談話発表

小林智子会長理事は、2005年12月16日、「府民の食にかんする不安がつのっている状況のもとで、京都府が食品の安全性と消費者の安心感の確保にむけた条例を制定したことは、府民の切実な願いをかなえるものとして、心より歓迎します。こんごは、「条例をいかす」ために、生協の組合員・役員がいっそう積極的に役割をはたしていくことが必要です」との談話を発表しました。

『きょうと食品事業者行動規範の手引』

『京の食品安全管理プログラム導入の手引』発行

「京都府食の安心・安全推進条例」の制定をうけて、食品にたずさわる事業者がコンプライアンス（法令遵守）・CSR（企業の社会的責任）をさらにすすめることを目的に、『きょうと食品事業者行動規範の手引』が作成されました。

作成にあたっては、京都府中小企業中央会・全農京都府本部・京都商工会議所・京都府商工連合会のほか、京都府生協連から坂本茂事務局長が参加しました。

あわせてHACCP（危害分析重要管理点方式）の考え方もとづく、『京の食品安全



『行動規範の手引き』の表紙

管理プログラム導入の手引』が作成されました。作成にあたっては、コープ品質管理研究所・角野久史所長が参加しました。

京都府と消費者団体との意見交換会開催される

2月23日、京都府と消費者団体との意見交換会が開催され、京都府生協連からは、生協活動推進委員・廣瀬佳代さんのほか、坂本茂事務局長、牧野内孝子事務局次長が参加しました。テーマは、平成18年度食品衛生監視指導計画案について。京都生協、コンシューマーズ京都（京都消団連）、NPO京都消費生活有資格者の会などが出席しました。

京都府および京都市へ食品衛生監視指導計画案についての意見提出

京都府および京都市の「食品衛生監視指導計画案」が公表され、これにたいする住民

意見の募集がおこなわれ、京都府生協連は、2004年、2005年につづき、京都府と京都市に意見を提出しました。意見書全文は当会ホームページに掲載しています。

食品に関するリスクコミュニケーション

1月16日、ば・る・るプラザ京都で、農林水産省などが主催する「食品に関するリスクコミュニケーション」が農薬ポジティブリスト制などをテーマに実施され、京都府生協連・小林智子会長がパネリストとして参加しました。



パネリストとして参加する小林智子会長

消費者被害の防止のために、

実効ある消費者団体訴訟(団体訴権)制度の 創設をもとめて意見書を提出



内閣府から、団体訴権制度の創設のため「消費者契約法の一部を改正する法律案(仮称)の骨子」へのパブリックコメントが募集されていますが、1月24日、京都府生協連は小林智子会長名で意見書を提出しました。今回の訴権制度は消費者契約法を対象としています。つぎのステップとして、独占禁止法・景品表示法・特定商取引法などへの導入をもとめていく必要が

- 1 制度の早期導入は賛成であり、かならず次期(注:06年)通常国会で立法化してください。
- 2 管轄裁判所については、不当な行為がおこなわれている地にも管轄を認めてください。
- 3 民法の詐欺、強迫、公序良俗違反行為も対象とすべきです。
- 4 推奨行為(不当なモデル約款の作成など)についても、差止め等の対象とすべきです。
- 5 政治的利用の規制は、団体の活動が不当に規制されないよう留意されるべきです。
- 6 訴訟中や確定判決の存在にかかわらず、別途訴訟を提起することを可能とすべきです。
- 7 適格消費者団体にたいする第三者の調査は不要で、監事監査、行政監督で十分です。
- 8 制度の実効性確保のためにも、団体への財政・税制面での支援策等を配慮してください。
- 9 行政等の有する消費者相談情報を消費者団体が活用できるように十分開示してください。
- 10 消費者団体の損害賠償請求制度をふくむ制度の見直しについて付則で定めるべきです。

消費者支援機構関西(略称:KCS)「ケーシーズ」の活動がスタート、ホームページも開設

昨年12月、立法化が目前となってきた消費者団体訴訟制度の担い手をめざして消費者支援機構関西が発足し、活動を開始しました。

12月理事会、1月常任理事会で、運営の規則や各種事業の計画を確認しました。消費者被害案件の検討のための検討委員会も立ち上がり、各府県単位の検討グループの活動をはじめ準備もすすましました。2月8日、日本生協連関西地連と共催で消費者セミナー(団体訴権学習会)を開催。3月11日には「不当に高額な解約料」についての電話相談(110番)受付活動を大阪、京都でおこなったほか、3月24日「消費者と事業者の連携で公正・健全な市場を」をテーマに事業者セミナーを開催しました。ホームページも開設されました。

京都の消費者組織が団体訴訟制度学習会を共催

3月4日、コンシューマーズ京都(京都消団連)、京都消費者契約ネットワーク、京都生協の共催で開催されました。「団体訴訟制度と京都の消費者団体に期待すること」と題して、消費者支援機構関西常任理事の野々山宏弁護士基調講演がおこなわれました。つづいてのパネルディスカッションでは、京都消費者契約ネットワークの長野浩三弁護士、京都消費生活有資格者の会の松本久美子氏、コンシューマーズ京都の原強理事長、京都生協の渡辺明子副理事長をパネリストに、「団体訴訟制度と私たちができること」のテーマを会場参加者とともに語りあいました。



京都生協・渡辺明子副理事長がパネリスト報告

西日本災害対策交流会
開かれる

1月24日(火)、チサンホテル新大阪で「第3回西日本災害対策交流会」が開催され、関西・中四国・九州地連管内の生協役員69人が参加しました。

交流会がもたれるのは、今回で3回目。大規模災害対策にかんする認識の共有化と、各生協・府県連の災害対応マニュアル等の実効性向上、行政や地域諸団体との連携強化を目的としています。

今回は、前中央地連大規模災害対策協議会事務局長の五辻活氏を全体コーディネーターとして、東南海・南海地震を想定した簡易図上演習をおこないました。京都府生協連からは、小峰耕二専務理事、坂本茂事務局長、牧野内孝子事務局次長が参加しました。

同日、交流会の活動を継承するため、関西地連大規模災害対策研究会が設立されました。



グループに分かれて図上演習

会員生協との相互連絡防災訓練を実施

1月17日(火)、「京都市内を震源とする震度7の地震が発生、各地で家屋が倒壊、道路の寸断、火災も発生している」との想定のもとで、会員生協との相互連絡防災訓練を実施しました。

同日、京都府および京都府災害ボランティアセンターも運用訓練を実施、生協連との連絡訓練をおこないました。

第7回
京都消費者フォーラム



京都府生協連・高田艶子生協活動推進委員が司会進行

昨年12月10〜11日、パルスプラザ(京都市伏見区)で、環境フェスティバルと同時開催されました。主催は、京都府・京都消費者フォーラム実行委員会。その一員として京都府生協連は、野々山宏弁護士(御池総合

法律事務所)にも協力いただいたて、「クイズバラエティ「こんなとき、あなたはどこうする?」悪徳商法から身を守るコツ」を企画し、40人あまりがクイズに参加しました。

2005
京都環境フェスティバル

昨年12月10〜11日、パルスプラザ(京都市伏見区)で開催され、約2万7000人がおとずれました。京都府などの主催で、府民の環境意識の高揚や環境行動の実践につなげることを目的に

毎年開催されているもの。京都府生協連は、「くらしゾーン」の大ブースに、京都生協、エル・コープ、京大生協の3者による共同出展をおこない、3者3様の特徴あるアピールができました。コアノンロールの数当てをふくむ環境クイズも好評で、ブース内は終始多くの人たちでにぎわいました。



にぎわう京都府生協連のブース

京都議定書発効
1周年記念イベント

2月16日、「地球温暖化防止・市民のひろば」が地球温暖化防止京都ネットワーク、気候ネットワークの主催で、ゲスト御池・河原町広場でひらかれました。代表の浅岡美恵さんはあいさつのなかで、「京都議定書は宝物。発効1周年の今日の日をかみしめながら行動に移っていきましょう」と呼びかけられました。学生や市民、NPO、放送関係者など、11団体の代表から活動発表がありました。京都生協からも小林澄子理事をはじめ3人の組合員が日ごろの環境の取組みを発表しました。



京都生協・小林澄子理事らが活動を発表

05年度監事・役員研修会

「テーマは「戦後60年〜日本経済の過去・現在・未来」2月15日(水)、せいきょう会館で、「2005年度京都府生協連監事・役員研修会」が

2月15日
監事・役員研修会



ユーモアたっぷりのお話で会場をわかせる林直道先生

開催され、40人あまりが参加しました。講師は、林直道・大阪市立大学名誉教授。戦後60年をふりかえりながら、小泉「構造改革」と新自由主義について、わかりやすく講演いただきました。参加者からは「むずかしい経済の話と思っていたが、ユーモアいっぱいのお話で、爆笑の連続でした」「とつてもトクした気分です」との声をいただきました。

つづいて、京都府商工部消費生活室・厨子義則専門員より、「京都府からの問題提起〜指導検査等をとおして」と題して報告があり、組合員管理、総代会・理事会の運営、諸規定の整備などについて強調されました。



京都府・厨子義則専門員より報告

J A京都女性協と京都府生協連役職員・組合員との交流会

JA 京都府女性協と京都府生協連役職員・組合員との

懇談会



京都府健康増進室・辻村美春副室長を講師に

2月20日、コープ宇治神明にて、JAやましろ女性部、京都生協宇治・宇治田原行政区委員、府連男女共同参画委員など、あわせて26人が参加しておこなわれました。京都府保健福祉部健康増進室の辻村美春副室長を講師に招き、「京のおばんざい弁当と家族の健康」について学習し、京のおばんざい弁当を食べながら日ごろの活動を交流しあいました。そのなかで、おたがいの共通点や地域でいっしょにやれることなどが見えてきて、とても有意義な交流会となりました。

京都生協・第8回商品大交流会開かれる

2月25日(土)、龍谷大学深草学舎で京都生協主催・せいきよう虹の会協賛による「第8回

商品大交流会」が開催され、組合員・役職員、取引先ふくめ800人が参加しました。

ことしのテーマは「とどけ私の声、集まれ みんなの願い。ひろがれ コープの輪」。小林智子理事長の開会あいさつのうち、「もっとおいしく」の声から始まった商品活動」の紹介、パネルディスカッション「私のくらし あなたのくらし ピッタリってどんなこと？」などがおこなわれました。

交流会に先立ち、「食べてなっとく試食」「知ってなっとく体験」コーナー企画があり、家族連れで参加する組合員の姿も多く見られました。食育ブースでは、近畿農政局消費・安全部消費生活課・尾崎光男課長補佐、見瀬弘久さんはじめ、食生



食育ブースの食生活診断が好評～近畿農政局のご協力で～

活相談のご協力をいただきました。

近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会



あいさつされる齋藤仁志次長

3月9日(木)、せいきよう会館にて、近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会が開催されました。近畿農政局からは、齋藤仁志次長はじめ12人の方が、生協からは、近畿6府県の生協連・日本生協連関西地連の役職員など19人が参加しました。

意見交換会が開かれるのはことしで8年目。リスクコミュニケーションにかんする取組み、BSE問題への対応、食育推進基本計画案、食品表示に関する取組み状況について、などのテーマで農政局からの報告と質疑がおこなわれました。短時間でしたが、各府県の地域特徴を反映した意見交換の場となりました。

マスク関係者と京都府生協連役職員との懇談会

3月7日(火)、平安会館にて、京都に本支局を置く新聞・放送編集者と、京都府生協連役職員との懇談会が開催されました。京都の生協活動の現状と課題をマスク関係者にお知らせし、意見交換・懇親する場として毎年おこなわれているものです。

開会にあたり、京都府生協連の小林智子会長理事と、NHK京都放送局の光井正人局長からあいさつがありました。

生協からは、2005年度の特徴的な活動紹介として、①「地域生協の活動」個配事業・コープきんき事業連合などについて(京都生協 福田晶昭渉外・危機管理事務局)、②「大学をめぐる情勢と大学生のくらしの実態」(京都大学生協 平信行専務理事)、③「医療をめぐる状況と医療生協の活動について」(やましろ健康医療生協 佐藤京子理事長)、④「消費者団体訴権制度の実現をめざして」(京都府生協連 小峰耕二専務理事)について報告しました。マスク関係者からは、個配事業における「協同」のあり方、環境活動や高齢社会にたいする対応、生協経営、学生のくらし状況などについて質問が出



あいさつされるNHK京都放送局・光井正人局長

され、意見交換しました。平信行副会長理事が閉会のあいさつをのべ、終了しました。

懇談会にご参加いただいたみなさん(順不同・敬称略)

会社名	役職名	氏名
NHK京都放送局	局長	光井正人
NHK京都放送局	放送部長	榎本榮三郎
京都放送	報道局長	近藤晴夫
共同通信社京都支局	支局長	藺部英一
時事通信社京都総局	総局長	西明彦
日本経済新聞社京都支社	支社長	鈴木健司
日本経済新聞社京都支社	支局長	岡松卓也
フジサンケイビジネスアイ京都支局	支局長	小林茂
毎日新聞社京都支局	支局長	榊原雅晴

おもな行事のお知らせ

公開学習会「生協法改正にむけて」

日時：4月11日（火） 午後1時30分～3時
会場：せいきょう会館4階 第1会議室

京都府生協連 第53回通常総会

日時：6月13日（火） 午後1時30分～5時（予定）
会場：池坊学園洗心館6階 第1会議室
下京区四條室町鶏鉾町491

ピースリレー&アクション京都（2006）

日程：6月21日（水）～26日（月）

2006年 国際協同組合デー 第17回京都集会

日時：7月5日（水）
午前10時30分～午後3時30分（予定）
会場：キャンパスプラザ（予定）
テーマ：「森・里・海のつながりを見直そう～協同組合が果たす役割」

探訪

関西文化学術研究都市に新スポット

見て・触れて・体験する参加型の「私のしごと館」



しごと探索ゾーンへの通路。
広くて高い天井に驚く



しごと体験は1日3回おこなわれます。写真は清水焼の絵付け。
子どもたちはほんとうに楽しそう。



りかちゃん人形の組み立ては家族体験のなかでいちばんの人気（20分、300円）

最近、京都への修学旅行・校外学習の新スポットとして注目を集めている「私のしごと館」。京都府精華・西木津地区の関西文化学術研究都市に03年10月4日グランドオープンして約2年半がたちました。平日は、全国各地からたくさんの中・高生がおとずれ、週末は家族連れでにぎわっています。

私のしごと館は、京奈和自動車道精華学研ICのすぐ近くにありますが、近づくほどにあまりの大きさに圧倒されます。全敷地面積は3万5000坪。甲子園球場のグラウンド2個分といえはその広さが想像できるでしょう。

正面入り口を入るとそこは建物の2階部分。なかは広くて天井が高く、まるで空港のロビーのよう。有料ゾーンへの入り口正面には「しごとシアター」があり、左手へ広い通路をすすむと、①しごと探索ゾーン。さらにすすむと②しごと体験ゾーン。その一部は1階までつづいています。それから、タイムトンネルをイメージした通路を抜けると③しごと歴史・未来ゾーン。そして④じぶん発見ゾーン。ここまでが有料で、無料のスペースには⑤しごと情報ゾーンがあります。じっくり見て歩くといぶん時間がかかりそうです。

ここをおとずれた子どもたちが、「見て・触れて・体験して、夢と未来のしごと発見」につながるよう、楽しい工夫がいろいろ。小学生～高校生、ファミリーまで年齢にあわせた「しごとまなびシート」、自分のタイプを知る「自分発見のオリエンテーリング」、多彩なワークショップ企画などがあり、若者の就業支援のためのセミナーも実施しています。

なかでも人気は「しごと体験ゾーン」で、ここでは40種類の仕事が体験できます。京象嵌や西陣織、清水焼、京友禅、泉州桐単筒、奈良筆など京都・大阪・奈良の伝統工芸、宇宙開発、消防官、新聞記者、TVスタジオ、声優、介護の仕事などなど。事前に予約することもでき（定員6～24人）、有料（材料費として300～1000円）。作品は約1時間で完成し、持ち帰ることができます（後に郵送のものもあり）。また、土・日は家族で楽しめる家族体験も実施しています。

私のしごと館という親しみやすいネーミングは、全国一般公募によるもの。イメージキャラクターのネーミングも同じく公募し、男の子が「みらいさん」、女の子が「のぞみさん」と名づけられ、広報誌やチラシなどに掲載されています。

運営にあたるのは独立行政法人 雇用・能力開発機構です。今回、案内して下さった総務部 企画調整課課長代理（広報担当）の河尻英貴さんは、「百聞は一見にしかず」といいますが、それにはつづきがあって、「百見は一動にしかず」なんです。一動、つまり体験に勝るものはありません。しごと館に来て、ぜひ見て・触れて・体験してほしいと。子どもたちに自分の適性を知り、生活の基礎となる職業を見つける、そんなきっかけの場所になればと河尻さんは願っています。



道路から見た私のしごと館の正面。建物は左手にあります。



「オープンしたところと同じくらい最近取材が多いですよ」と河尻英貴さん



みらいさん（左）とのぞみさん（右）。



「私のしごと館」

〒619-0282 関西文化学術研究都市
（京都府精華・西木津地区）
TEL.0774-98-4510 FAX.0774-98-6202
予約受付TEL.0774-98-6121
URL <http://www.shigotokan.ehdo.go.jp>